

## 放射線科

### (1) 到達目標

診療科医師として放射線医学全般に渡る知識、技術を修得すると共に、臨床に於ける各画像の読影及び画像診断報告書の作成、IVRの実施、放射線治療患者の診察と治療計画立案、患者管理の能力を身につけ、患者を全人的に診療する態度及びチーム医療の必要性を十分に配慮した協調と協力の習慣を身につける。

### (2) 行動目標（代表的行動）

画像診断・IVR：

1. 救急科依頼の画像検査の正常、異常を識別する。（解釈）
2. 救急科依頼の画像検査で病態の診断を行う。（問題解決）
3. 将来進む診療科の画像検査の正常、異常を識別する。（解釈）
4. 将来進む診療科の画像検査で病態の診断を行う。（問題解決）
5. IVRのデバイス類について理解する。（解釈）
6. IVRの手技について理解する。（技能）

放射線治療：

7. がん患者に対して患者心理に配慮しつつ診察を行う。（態度）
8. 種々のがんについての病期分類を理解する。（解釈）
9. 患者や家族、他の医療スタッフと良好な人間関係を確立出来る。（態度）
10. 指導医と共に治療計画を立案する。（問題解決）

### (3) 方略（LS）

1. 画像診断専門医の指導の元に画像診断報告書の作成を行う。
2. その報告書の症例や他の症例に関して主治医との討論に参加する。
3. IVRの実際や周術期管理に参加する。
4. 放射線治療専門医の指導の元に患者診察、治療計画の立案を行う。

週間スケジュール例

|    | 月        | 火        | 水        | 木        | 金        |
|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 午前 | 読影       | 読影ないし治療  | 読影       | 読影ないし治療  | 読影       |
| 午後 | 読影ないしIVR | 治療ないしIVR | 治療ないしIVR | 治療ないしIVR | 治療ないしIVR |

### (4) 評価（EV）

- 1) 研修医は、ローテーション終了時に自身の研修達成度を確認しながら、自己評価を行う。
- 2) 指導医あるいは上級医は、全ての行動目標に対して、観察記録あるいは口頭試験などによる形成的評価を適宜行う。目標によっては必要に応じて看護師など医師以外の評価者も観察記録による形成的評価を行う。総合的な評価結果はローテーション終了時に feed back されるとともに、オンライン臨床研修評価システムにて記載される。
- 3) 指導医は提出された病歴要約により、経験すべき症候・疾病・病態に関する理解度について形成的評価を行う。